

# 映画「池島譚歌」あす公開



九州最後の炭鉱が閉山した長崎市の離島・池島（池島町）を舞台に、友情や命の尊さを描いた映画「池島譚歌」が、6月1日から公開されることが決まった。

池島（周囲約4キロ）は、2001年に炭鉱が閉山して以降人口が減り、現在は約200人が暮らす。

作品は、池島の小学校に通う少年が、突如行方不明になった母親を親友らと捜す中で試練を乗り越え、成長していく姿を描いた。

制作にあたった映画チーム「フィルムフロンティア」（東京）は、県内の小中学生4人をオーディションで

子役に選ぶなどし、話題を集めていた。

長崎市出島町の出島シアターで21日に試写会と制作発表があり、少年役の諫早市立真津山小6年田中達也君（11）らが、作品中で友情を示す時のポーズを披露して会場を盛り上げた。荻野欣士郎監督は「長崎に育てられた作品。懐かしい音楽とともに人の温かさを感じてほしい」と鑑賞を呼びかけている。

## 県内の児童ら出演、友情描く

6月1日から長崎市尾上町のユナイテッド・シネマ長崎などで公開。入場料1000円。問い合わせは制作事務局（080・5428・2452）へ。